

APPEAL

発行者
 JR 東海労関西地本
 大阪台車検査車両所分会
 2014年 2月12日
 NO.57

大幅ベースアップを勝ち取ろう！！
給与のベースが上がらないと生涯賃金は上がらない！！

ベースアップがなぜ必要なのか
 給与のベースが上がらないと生涯賃金は上がりません。東海会社では定期昇給を基本的には 1200 円×4 の最大 4800 円となっています。また株式上場をしている大企業では 5000 円を超える定期昇給額は珍しくありません。従って基本給を上げないと生涯賃金は目減りしていくこととなります。さらには今年 4 月からは消費税が 5% から 8% となり、ひと月 10 万円を消費すると 3000 円の負担増となります。

新入社員と退職者の数が同じならば会社の支払う人件費は常に一定です。しかし東海会社の場合、現在新入社員より退職者の方が多いので人件費の割合は減少しており大幅なベースアップは十分可能といえます。

過去最高の収益」 昨年を上回る収益」 大変乗りがいい」
部長・課長・現場長等の挨拶だけ？
現場で働く者には何の恩恵も無し！

ベア戦線 春は来るか

2/6 朝日

5年ぶり要求 政権後押し

経団連と連合の労使首脳による会談を皮切りに春闘が幕を開けた。上り始めた物価にあわせ、企業は賃金体系を底上げするベースアップ（ベア）を認めるのか。中小企業の働き手や非正規労働者にも、賃上げの「すず野」は広がるのか。春闘が問われていた。

5日の会談で、連合の神戸製鋼所代表は「月例津里生事務局長は「月例賃金にこだわると切り出し、5年ぶりにベアを要求する方針を伝えた。経団連の米倉弘昌会長は「業績改善が賃上げにつながる好条件」と述べた。

ベア要求する主な労働組合

労働組合	ベア要求
トヨタ自動車	4000円（5年ぶり）
ホンダ	3500円（5年ぶり）
マツダ	3500円（5年ぶり）
富士重工業	3500円（4年ぶり）
三菱自動車	3500円（12年ぶり）
パナソニック	4000円以上（5年ぶり）
三菱電機	4000円以上（5年ぶり）

春闘の賃上げ率は実質ベアゼロが続く。従業員1000人以上の企業の平均賃上げ率で、定期昇給分（1.8%程度）を含む。厚労省まとめ

円安で好業績の自動車メーカーの労組は、軒並みベアを求めた。円安で好業績の自動車メーカーの労組は、軒並みベアを求めた。円安で好業績の自動車メーカーの労組は、軒並みベアを求めた。

2002年以降、春闘の平均賃上げ率は2%を下回る。定期昇給分を差し引くと、ベアゼロの状態が10年以上続く。連合は、賃金が上がらないことが購買意欲を失わせ、物価が下がるデフレを長引かせたとして、「ベア1%以上の要求方針を決めた。

好業績の日立製作所やパナソニックなどの労組も、ベアを要求する方針。久々の「賃上げ春闘の舞台をつつたのは、安倍政権だ。アベノミクスは、金融緩和で円安に導いて企業をもつげさせ、賃金を増やし消費が向上、好循環をめざす。消費低迷で景気が失速すれば、政権連環をつくり出すべく努力を要すると思われる。今期の営業利益が過去最高となる見通しのトヨタ自動車、トヨタ労組は4千円のベアを要求する方針。

私たちは職場の声を訴えていきます！